

## 中学部5グループ 国語科 学習指導案

日 時：令和6年10月24日(木)10:30~11:20

場 所：中学部2(中学部3年教室)

生 徒：男子2人、女子1人、計3人

指導者：鈴木めぐみ

### 1 単元名 「修学旅行をプレゼンしよう①・東京ディズニーランド編」

#### 2 単元の目標

- (1) 相手に伝わる話し方や文の構成が分かり、発表する。(知・技)
- (2) 相手に内容が伝わるように、伝えたい事柄を順序立てて文の構成を考えたり、声の大きさや速度、明瞭さを意識して話したりする。(思判表)
- (3) 友達の発表に関心をもって聞くことや、相手に話して伝えることの大切さに気付き、生活場面に生かそうとする。(学・人)

#### 3 生徒と単元

##### (1) 生徒について

中学部3年生の男子2名、女子1名の学習グループである。3名ともおおむね中学部1段階に相当するが、これまでの学習履歴や理解度などから実態には差がある。

聞くことや話すことについては、3名とも簡単な指示を聞いて理解し行動することができるが、人前で話すことには苦手意識があった。そこで、これまで漢字の書き順をクイズ形式にして出題し合うなど楽しみながら話す学習に取り組んだり、生活単元学習のせんぼく校祭ステージ発表練習で、人前で大きな声で話したりしたことで、徐々に人前で話すことに慣れてきた。また、注意して話を聞き、内容に沿った質問に正しく答える学習に取り組んできたことで、集中して話を聞こうとするようになってきた。

書くことについては、3名とも自分の考えや感想を書くことに苦手意識があり、何をどう考え、表現したらよいか分からず、考えること自体に消極的になることがある。これまで行事などを振り返り、項目に沿って出来事と自分の感想などを言葉で表す学習に取り組んだことで、ヒントを手掛かりに自分の考えや感想を簡単な言葉で書くことができるようになってきた。

##### (2) 単元について

本単元では、自分たちが体験した修学旅行を基に、東京ディズニーランドのおすすめのアトラクションを2年生に紹介する言語活動を設定する。友達への発表の場面を設けることで、目的意識をもって意欲的に学習に臨むことができる。また、聞き手となる2年生、話し手となる3年生の双方が興味のある「修学旅行」をテーマに取り上げることで、聞き手と話し手がそれぞれ「聞きたい」「伝えたい」意欲をもって学習に取り組めると考える。

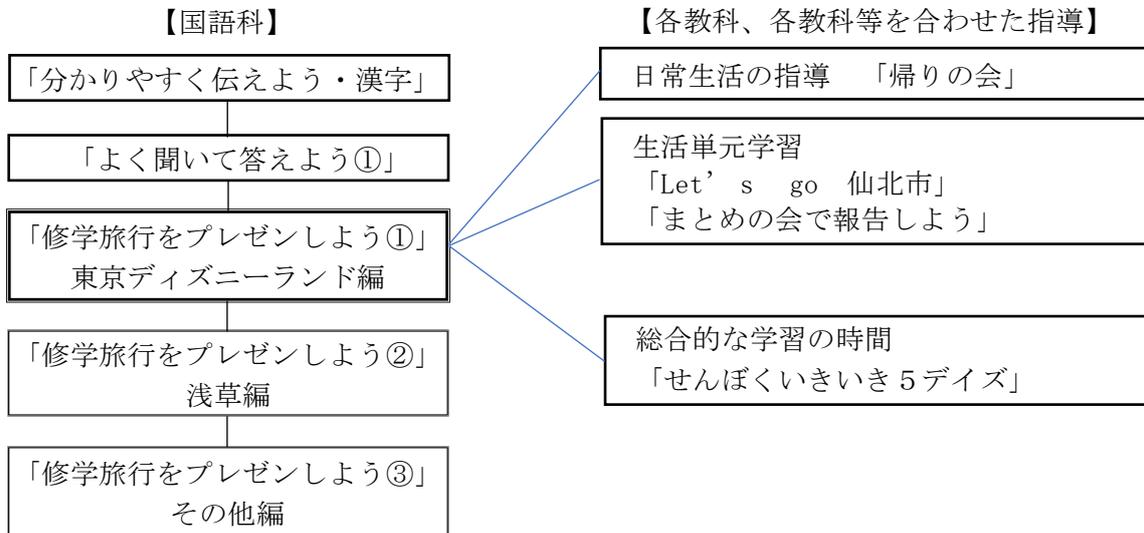
効果的に自分の考えや情報を伝えるためには、原稿づくりにおいてアトラクションを選んだ理由を含めて、文の構成を考えることが必要となる。文の構成を適切に考えることで、自分の伝えたいことが明確に相手に伝わり、相手の共感や理解を得やすくなる。発表場面においては、聞き手を意識した話し方を身に付けることが必要となる。身に付けた話し方は、他の学習での発表場面でも大いに活用できると考える。

友達の発表を聞く場面では、共通の体験を振り返り、共通点や相違点に気付きながら、興味をもって話を聞くことができると考える。また、友達の考え方を知ったり、話し方を学んだりする機会にもなる。

自分の考えをまとめて発表することが苦手な生徒たちだが、自分で選んだおすすめのアトラク

ションを紹介するという活動を通して、「聞き手に伝えたいことが伝わる」経験を積み重ね、自分の思いや考えを周りに伝えることの楽しさを感じ、自分から積極的に発信しようとする気持ちを高めたい。

○本単元で身に付けたい力に関連する他教科の単元と指導内容



○本単元で学んだことの活用場面（具体例）

学年・対象生徒	指導の形態	単元名
3年・A	総合的な学習の時間	「せんぼくいきいき5デイズ」
・「いきいき5デイズ」の作業学習製品販売で、場に合った声の大きさと、作業学習製品の良いところを強調して話す。		

- (3) 指導上の留意点 ※ゴシック体は「児童生徒一人一人が主体的に学び、学びを広げる姿」との関連を示す。
- ・話に注意を向けて聞くことができるように、話す際は聞く準備ができているか確認をしたり、話の聞き方について書いている「中学部の約束」カード（資料①）を指差して話を聞く姿勢への気付きを促したりしてから話す。また、話の内容を理解できているか、聞き逃しがいないか、話の内容を質問しながら話す。【適切な言語環境づくり】
  - ・生徒が自分の体験を思い出したり、聞き手に伝わる話し方の留意点を考えたりできるように、画像で振り返ったり、動画を用いて比較したりする場面を設ける。【具体的に考える場面の設定と工夫】
  - ・発表原稿を考える場面では、文章の修正や文章の順番を容易に入れ替えながら考えることができるように、ロイロノートを活用する。
  - ・発表原稿は、生徒が読みやすいように、文節の区切りで改行して提示する。
  - ・生徒が発表の様子を自己評価できるように、発表の様子をタブレット型端末で撮影し、自分で振り返る場面を設ける。【具体的に考える場面の設定と工夫】
  - ・話し方の見本となるように、教師は話す速度や話し方の強弱、間を取るなどに留意して話す。【適切な言語環境づくり】
  - ・「聞き手に伝わる話し方」を意識して話せるように、要点をまとめたカードを掲示する。【適切な言語環境づくり】
  - ・話し方の指導では、話すことへの意欲が持続するように、教師だけでなく、友達の称賛を受ける場面を設ける。

4 指導計画（総時数 9 時間）

小単元名・時数	主な学習活動	準備物
東京ディズニーランドについてプレゼンしたいことを決めよう (1 時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が作成したプレゼンの見本から、今後の学習の見通しをもつ。</li> <li>東京ディズニーランドのアトラクションで自分が紹介したいものを二つ（ワクワク編、度肝を抜かれた編）決める。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット型端末</li> <li>モニター</li> <li>ワークシート</li> </ul>
プレゼンしたいことを書き出そう (1 時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>紹介したいアトラクションについて、写真などで振り返りながら、説明、理由などの項目に沿って体験に基づく事実や感想などを書き出していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット型端末</li> <li>モニター</li> <li>ワークシート</li> </ul>
発表原稿を考えよう 発表原稿①：わくわく編 発表原稿②：度肝を抜かれた編 (2 時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師が示す発表原稿の例から、聞いて分かりやすい文の構成について考える。</li> <li>まとめたことを生かし、ワークシートを参考に、文の構成に留意しながら、発表原稿をつくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット型端末</li> <li>モニター</li> <li>ワークシート</li> </ul>
発表の仕方を考えよう (1 時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表の仕方の良い例、悪い例の動画を視聴し、相手に伝わる話し方を考える。</li> <li>発表原稿の強調したい言葉に線を引いたり、気を付けるポイントを書き込んだりする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ワークシート</li> <li>タブレット型端末</li> <li>モニター</li> <li>聞き手に伝わる話し方カード</li> </ul>
発表練習をしよう (3 時間) <b>本時 6 / 9</b> ①：発表原稿①の練習 ②：発表原稿②の練習 ③：発表原稿①②の練習	<ul style="list-style-type: none"> <li>「伝えたいことは、大きな声で、ゆっくり、はっきり話す」に気を付けて発表練習をする。</li> <li>友達の発表に関心をもって聞き、感想などを伝える。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>聞き手に伝わる話し方カード</li> <li>タブレット型端末</li> <li>モニター</li> <li>発表原稿</li> <li>ワークシート</li> </ul>
2 年生にプレゼンしよう (1 時間)	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 年生の前でプレゼンする。</li> <li>発表の動画を視聴し、振り返りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タブレット型端末</li> <li>モニター</li> <li>ワークシート</li> </ul>

5 単元における個人目標（単元終了後に評価欄に◎、○、△を記入）

生徒	本単元前の学習状況・課題	観点	個人目標	評価	国語科の段階・目標・内容
A 3 年 (男)	<ul style="list-style-type: none"> <li>要点を絞って話すことが苦手であるが、項目に沿って出来事を振り返ることができる。</li> <li>書字に時間を要する。</li> <li>読み間違えることがあるが、大きな声を意識</li> <li>集中が途切れ、話を聞き逃すことがある。</li> </ul>	知・技	伝えたいところを大きな声でゆっくり、はっきりと話すことを意識して話す。		国語科中 1 段階 (1) 目標イ (2) 内容 [知・技] ア(イ) (キ) [思判表] A-オ
		思判表	項目に沿って、おすすめの理由や体験時の感想などを添えて発表原稿をつくる。		
		学・人	友達の発表に関心をもって聞き、自分の考えを友達に伝えようとする。		
B 3 年 (男)	<ul style="list-style-type: none"> <li>感想を添えることが苦</li> <li>手であるが、体験した出来事をまとめること</li> </ul>	知・技	伝えたいところを適切な声の大きさや速さ、明瞭さに気を付けて話す。		国語科中 1 段階 (1) 目標イ (2) 内容

	<p>ができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・早口になったり、声の大きさを調整したりすることが苦手だが、大きな声で話すことができる。</li> <li>・集中が途切れ、話を聞き逃すことがある。</li> </ul>	<p>思判表</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の体験をもとに、事実と感想を交えながら、文の順序を考えてまとめる。</li> </ul>		<p>[知・技] ア(イ) (キ) [思判表] A-オ</p>
		<p>学・人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達の発表を聞いて感想をもったり、友達に伝えようとしたりする。</li> </ul>		
C 3年 (女)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の考えをまとめることが苦手だが、教師とやりとりしたり、提示された項目に添って考えたりすることでまとめられるようになってきた。</li> <li>・口を動かさずに話すため、言葉が不明瞭なこともあるが、声の大きさに気を付けて話すことができる。</li> </ul>	<p>知・技</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいところを大きな声でゆっくり、はっきりと話すことを意識しながら話す。</li> </ul>		<p>国語科中1段階 (1) 目標イ (2) 内容</p>
		<p>思判表</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の体験をもとに、聞き手が分かりやすい文の構成を教師の見本を参考に考える。</li> </ul>		<p>[知・技] ア(イ) (キ) [思判表] A-オ</p>
		<p>学・人</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相手に伝わる話し方に留意しながら、友達に自分の考えを伝えようとする。</li> </ul>		

## 6 本時の計画

### (1) 本時の目標

- ・聞き手に聞こえる大きさの声で、ゆっくり、はっきりと伝えたい言葉話すことを意識して発表する。(知・技) (思判表)
- ・友達の発表に関心をもって聞き、友達が伝えたい言葉や発表への感想を話す。(学・人)

### (2) 生徒の個人目標と手立て

生徒	本時の個人目標	手立て
A 3年 (男)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいところを、大きな声でゆっくり、はっきりと話すことを意識して発表する。(知・技) (思判表)</li> <li>・友達の発表に気持ちを向けて聞き、友達が伝えなかった言葉を答える。(学・人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き手に伝わる話し方に気を付けて発表できるように、事前に原稿の伝えたい箇所に線を引いておく。</li> <li>・友達の発表後に、伝えなかった言葉を質問することを事前に伝える。</li> </ul>
B 3年 (男)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいところを、適切な声の大きさや速さ、明瞭さに気を付けながら話す。(知・技) (思判表)</li> <li>・友達の発表に気持ちを向けて聞き、友達が伝えなかった言葉を答える。(学・人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・聞き手に伝わる話し方に気を付けて発表できるように、発表前に「聞き手に伝わる話し方」を確認したり、教師の範読を聞く場面を設けたりする。</li> <li>・友達の発表後に、伝えなかった言葉を質問することを事前に伝える。</li> </ul>
C 3年 (女)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいところを、大きな声でゆっくり、はっきりと話すことを意識して話す。(知・技) (思判表)</li> <li>・友達の発表を聞き、感想を話す。(学・人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前に原稿の伝えたい箇所に線を引いたり、はっきり話す文字に○を付けておいたりする。</li> <li>・友達の発表への感想を聞くことを事前に伝える。</li> </ul>

(3) 展開

時間	学習活動	指導の手立てと留意点
5分	1 前時の振り返りと本時の学習を知る。 (1) 前時の振り返り  (2) 本時の活動内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時の学習と本時の学習のつながりを感じられるように、前時の学習について振り返る。本時のめあてにつながるように、「聞き手に伝わる話し方」のキーワード（大きな声、ゆっくり、はっきり）について質問する。また、「聞き手に伝わる話し方」をイメージできるように、見本を示す。</li> <li>・本時の学習に見通しがもてるように、活動内容をホワイトボードに提示しておく。</li> </ul>
10分	2 めあてを確認し、個別練習をする。 (1) 順番決め (2) めあての確認  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;">                     &lt;めあて&gt; 伝えたい言葉を「聞き手に伝わる話し方」で友達に発表しよう。                 </div> (3) 個別練習 A：中1・2教室 B：中3教室 C：多目的室1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・友達とやりとりして発表の順番を決められるように、1分以内で決めるよう伝える。</li> <li>・本時の学習への目的意識を高められるように、Tは「発表する時に、伝えたい言葉をどのように話すとよいか」と発問する。</li> <li>・伝えたい言葉を意識して読むことができるように、前時に生徒自身で原稿に傍線を引いておく。</li> <li>・発表練習でめあてを意識して話せるように、三つの場所に分かれて5分間の個別練習する場面を設ける。また、必要に応じて適切な話し方を確認できるように、タブレット型端末に教師の範読を録音しておく。</li> </ul>
15分	3 発表練習をする。 ・話し手：発表する ・聞き手：話し手が伝えたい言葉の回答	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が安心して発表できるように、教師はうなずきやOKサインでうまくできていることを伝えながら聞く。</li> <li>・友達の発表に関心をもって聞くことができるように、友達が伝えたい言葉を書き留めるワークシートを用意する。Aは、書字の負担軽減のため、選択肢から選ぶワークシートを用意する。</li> </ul>
20分	4 本時を振り返り、次時の学習を知る。 (1) 伝えたい言葉の確認 (2) 本時の振り返り ・自分の評価 ・友達からの評価 (3) 次時の学習の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたい言葉をみんなで確かめることができるように、モニターに発表原稿を映す。</li> <li>・本時のめあてへの自己評価ができるように、「聞き手に伝わる話し方」を基に、動画を視聴する。</li> <li>・生徒が発表への達成感をもつことができるように、聞き手だった生徒が評価や感想を話す場面を設ける。</li> <li>・伝えたい言葉が聞き手に伝わらなかったときは、どうすればよいかを考える場面を設け、次時の課題とする。</li> <li>・次時の学習に見通しがもてるように、予告をする。</li> </ul>

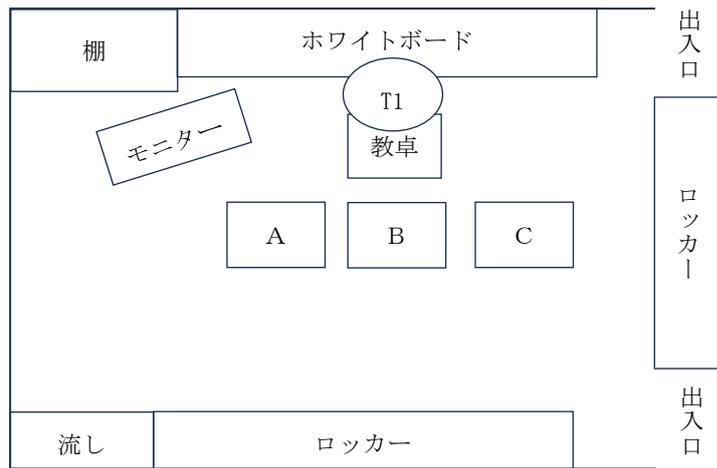
(4) 本時の評価の観点

- 生徒 ・「聞き手に伝わる話し方」を意識して、話すことができたか。
- 教師 ・生徒が「聞き手に伝わる話し方」を意識して、話すための手立てや学習活動は適切であったか。
- ・生徒の話し方を育むための言語環境は適切であったか。

(5) 準備物

「聞き手に伝わる話し方」の掲示用カード、タブレット型端末、モニター、生徒の発表原稿、ワークシート

(6) 配置図



(7) 板書計画

振り返り

伝えたい言葉

自分の評価

友達からの評価

めあて

伝えたい言葉を「聞き手に伝わる話し方」で友達に発表しよう。

修学旅行をプレゼンしよう①

東京デイズニーランド編

「聞き手に伝わる話し方」

- 大きな声で
- ゆっくり、はっきり話す

学習活動

- 一 個別練習
- 二 発表練習
- 三 振り返り

C

■ ■ ■ ■

B

▲ ▲ ▲

A

● ● ● ●

			声の大きさ
			ゆっくり
			はっきり

			声の大きさ
			ゆっくり
			はっきり

(8) 資料

①

**中学部の約束**

- 話は最後まで聞く。
- 意見や質問があるときは手を挙げる。
- 話を聞く姿勢に気を付ける。